公印省略

７疾病第４１３号
令和７年４月２４日

各保健福祉（環境）事務所長 殿

がん感染症疾病対策課長
（感染症対策係）

ダニ媒介感染症の予防啓発及び対策の推進について

重症熱性血小板減少症候群（SFTS）や日本紅斑熱を含むダニ媒介感染症については、発生する地域の広がりとともに継続して患者の発生が報告されています。

SFTS については、平成 25 年 1 月に国内で海外渡航歴のない方が罹患していたことが初めて報告されて以降，西日本からの報告が相次いでおり、県内でも平成 27 年 5 月 19 日に、SFTS の患者が初めて確認されて以降、毎年報告があり、令和 7 年３月末までに 32 例の報告があり、うち 8 例の死亡が確認されているところです。

また、令和６年３月、国内で初めてとなる SFTS ウイルスのヒトーヒト感染（患者から医療従事者への感染）事例が確認されたところです。

マダニの多くは春から秋にかけて活動が活発になり、シカやイノシシなどの野生動物が生息する環境のほか、民家の裏山や裏庭、畑などにも生息していることから、特に屋外でのキャンプやハイキング、農作業や草刈り、山中での作業（山菜採りや狩猟等）は、ダニに咬まれるリスクが高まります

つきましては、貴所管内医療機関に対し、SFTS 患者の診療における感染対策の徹底について周知をお願いします。

また、今後マダニの活動が活発化する季節になるため、貴所管内医療機関及び市町村に対し、別添リーフレット等を用いたマダニ対策の啓発について依頼をお願いします。

なお、下記関係機関に対しては、当課から通知しておりますので申し添えます。

記

以上

○関係機関公益社団法人福岡県医師会
　公益社団法人福岡県病院協会一般社

団法人福岡県私設病院協会公益社団法人全国自治体病院協議会福岡県支部一般社団法人福岡県精神科病院協会公益社団法人福岡県獣医師会農林水産部畜産課、林業振興課